

▶ spICP-MS によるナノ粒子評価サービス開始

～様々な分野に応用可能な 100 nm 未満のナノ粒子評価～

半導体デバイスは信号伝達の高速化や省エネルギー化のために微細化が要求されており、高性能な製品を効率よく製造するためには汚染物質の制御の重要性がより一層増えています。微粒子のコンタミネーションは、製造工程で使用する部材や工業用薬品などあらゆるものから発生するため、その選定や各工程における微粒子管理が重要視されています。

当社ではこれまでも製造装置の部材から発生する微粒子や工業用薬品中の

微粒子の分析を実施しており、微粒子の定量・定性分析の実績を積んでまいりました。このたび新規に導入した測定手法である spICP-MS 法（単一粒子誘導結合プラズマ質量分析法）により、ICP-MS で測定可能な元素を含む微粒子であれば、さらに高感度に検出できるようになりました。spICP-MS 法は、測定元素由来のシグナルパターンを化合物の組成比や密度などを用いて換算・解析することで、指定した化合物でできた球形

粒子とみなして分布や個数を得ることができる測定手法です。図 1 に 20 nm 金標準粒子の粒度分布測定結果を示します。当社が蓄積してきた前処理技術（図 2）と組み合わせることにより、従来手法では難しい 100 nm 未満のナノ粒子の評価が可能になりました。本技術は分野を限らず様々な試料に適用できますので、ぜひ一度ご相談ください。

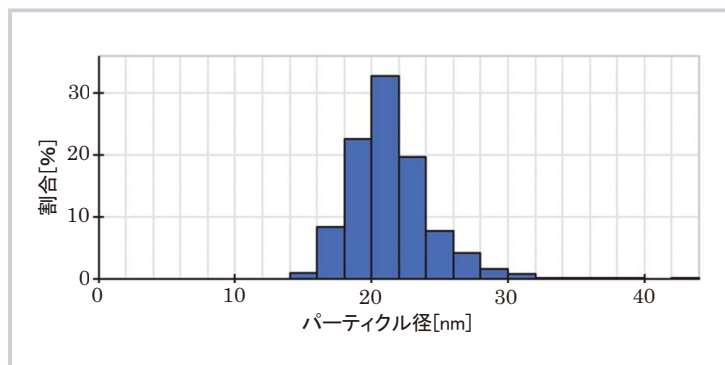


図 1 spICP-MS による Au 20 nm 標準粒子の分布解析

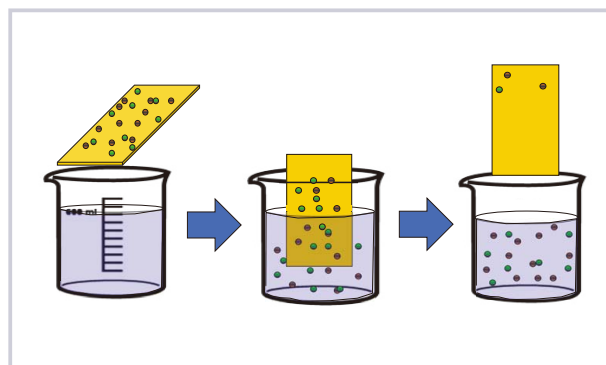
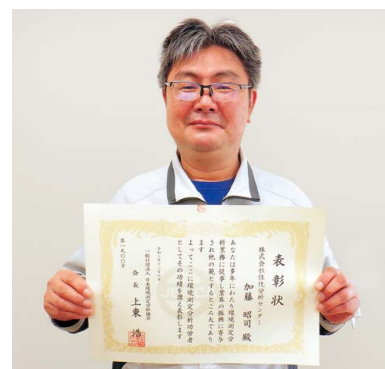


図 2 粒子抽出試験のイメージ

▶ 日本環境測定分析協会 2021 年度環境測定分析功労者表彰

大分ラボラトリーの加藤昭司が、日本環境測定分析協会の「2021 年度 環境測定分析功労者」として表彰されました。加藤は 2000 年に入社して以来、20 年以上にわたり環境分析業務に従事し、特に、大分ラボラトリーで行っている計量証明事業においては、環境計量士として計量

管理の体制作り、維持に尽力して参りました。この度の表彰は、豊かな実務経験と熟練した技術能力により環境測定分析事業の振興に大きく寄与したことをお認めいただいたものです。現在は、これまでの経験を活かして後進の育成指導にも力を入れております。



分析サービス・製品に関するお問合せ

Web <https://www.scas.co.jp/contact/>
 ■ お問合せフォーム ■ 依頼票ダウンロード

☎ 03-5689-1219 ☎ 03-5689-1222

✉ メール marketing@scas.co.jp

企業情報

Web <https://www.scas.co.jp/company/>
 ■ 所在地案内 ■ 会社概要 など

SCASNEWS誌に関するお問合せ

✉ メール scasnews@scas.co.jp

☎ 06-6202-1807 ☎ 06-6202-0116

▶ SCAS NEWSは環境配慮型印刷へ

今号より環境配慮型印刷を採用しました。これからも、持続可能な社会に向けて取り組んで参ります。

環境ラベルのご紹介

▶ GP 認定工場マーク (GP=グリーンプリンティング)

環境配慮基準を達成した認定工場で製造し、用紙・インキ・製本・表面加工方法なども基準を満たした印刷製品に表示できるマーク。(一般社団法人 日本印刷産業連合会)

▶ FSC® 認証マーク

適切に管理された森林から生産され、認証を受けた組織により、生産・流通・加工が管理された製品に表示できるマーク。(NPO 法人 日本森林管理協議会)



SCAS NEWS 2022-II (通巻56号)

発行 2022.8.26

発行者 株式会社住化分析センター

〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-6-17 住化不動産横堀ビル

編集担当 情報戦略推進室

SCAS Sumika Chemical Analysis Service

🔍 はアインシュタインの疑問符です。彼のあくなき好奇心と探求心こそが、宇宙真理発見の原動力だったのかもしれませんが。

〔無断転載禁止〕